

高等学校 令和5年度 教科

芸術

科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 年次 ～ 6 年次

使用教科書：（ 書道 I （東京書籍） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】書の知識を学び、実習の中で活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】技法を理解・活用しつつ、書の表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】聞く態度、制作に向かう態度。道具の扱いや後片付けなどに真摯に取り組む。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・書の文化を知り、生涯にわたって愛好する心を持ち、より良いものを選ぶことができる。 ・正解がたくさんあることを肯定的に捉え、広い視野を持ちあらゆる他者と上手く接することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の鑑賞力を身につける。 ・書道の技術を習得し、表現できる。 ・自他の作品の良さを認め、切磋琢磨し、より完成度の高い作品として表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道道具を大切に扱う。 ・他者へ配慮し、ルールやマナーを守った節度のある行動ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の方法	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
前期	・オリエンテーション 名前の書き方を調べる	・受講の際の持ち物や書の学習方法を把握する。 ・名前の書き方を『五體字類』で調べる。	ワークプリント 知識・技能(知)	○	○	○	13
	・書写から書道へ ・漢字の書 楷書の特徴	・書写で学んできたこと、用具・用材、姿勢・執筆法などの基本を確認する。 ・九成宮醜泉銘の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。	ワークプリント 学習成果(課題) (知、思考・判断・表現(思))	○	○	○	13
	漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 表現を比べよう	・孔子廟堂碑の用筆、運筆、結構や字形の取り方について、九成宮醜泉銘の比較をとおして、それぞれの特徴と書法を理解する。	ワークプリント 学習成果(課題) (知・思)、主体的に学習に取り組む態度(主)	○	○	○	6
	楷書の鑑賞と臨書	・雁塔聖教序の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。	ワークプリント 学習成果(課題) (知・思・主)	○	○	○	7
後期	創作-古典を生かそう	・行書の古典から習得した表現方法を生かして2字から4字の作品を色紙に制作する。	制作カード学習成果(作品)【知・主】	○	○	○	13
	・篆刻 篆刻と落款	・篆刻に関心を持ち、完成までの手順と技法を理解する ・検字や印稿の過程で自分の制作する印に工夫を加える。	篆刻制作カード (知・主・思)	○	○	○	13
	・仮名の書 仮名の成立 仮名を書く準備 平仮名の単体	・仮名の成立過程、および仮名の種類について理解する。 ・仮名の基本的な筆使いを身につける。	学習成果(課題) (知・思・主)	○	○	○	13
合計							78